



浦谷 彩歌 (松戸市立小金南中学校)

在校生 3年 生徒会長

私は1年生の頃から生徒会役員として学校行事に携わってきました。その中で実感したことは、生徒が主体となって行事が動いているということです。これは、私が松国を志望校に決めた主な理由でもあります。2年前、私は志望校が決まらず焦っていましたが、松国の説明会で先輩たちの姿を見た瞬間こしかないと、松国に決めました。他の高校の説明会と比べて松国の生徒会コーナーは、ユニークで、生徒目線での情報がたくさん詰まっています。松国の魅力を松国生から感じることができました。そんな説明会を今では自分が作る側にまわり、どうしたらより松国らしく松国の魅力を伝えられるかと考え、会議を重ねています。このように、それぞれの分野で与えられた仕事を1人1人が自ら考え、責任を持って活動していく姿を上級生が行動で示し、後輩達は学び成長していきます。自分で考え、行動することは松国生らしさのひとつだと思います。



栗林 詩織 (柏市立富勢中学校)

在校生 3年 生徒会副会長

松戸国際高校はとても国際色豊かで、海外への修学旅行、アメリカやオーストラリア短期留学など様々な場面で異文化に触れることのできるチャンスがあります。第2外国語も充実していて「フランス語」「韓国語」「中国語」から1つ選ぶことができ、新たな道を切り開くことが可能です。私もフランス語を取っていますが、学ぶこと1つ1つが刺激的且つ新鮮でとても面白いです。そして松国は行事がとても活発でどの行事にも全力で取り組みます。中でも松耀祭は生徒が主体となり作り上げるので、気合いの入れ方が尋常ではなく毎年異様な盛り上がりです。個性豊かで仲間思いの友達と過ごす毎日はとても充実したものとなっています。この松国の仲間達と過ごす3年間はきっと素敵な思い出となるでしょう。あっという間な高校3年間という青春をぜひ松国で過ごしてください！



伊勢谷 貫太 (松戸市立第二中学校)

東京理科大学 工学部 工業化学科

松戸国際高校で過ごした学校生活をふり返ると、とても充実した3年間でした。そしてなにより楽しかったのは文化祭です。文化祭前は放課後遅くまで残って準備したり、時には友達と意見が合わず口論になったこともありましたが今となっては良い思い出です。また2年次からは選択科目があるため、自分の進路に合った勉強をすることができ、さらにその授業で知り合った人とも関係を深めることができました。これは松国ならではの思い出です。先生方には大変お世話になりました。自分が進路に迷っていたとき、親身に相談に乗って下さったり、受験の対策プリントを作って下さるなど、先生方の支えがあったからこそ大学に合格できたと思います。今お話しできたのも松国の良い点の一部に過ぎません。是非松国に入って、充実した高校生活を送ってください。



三波 勇太 (松戸市立和名ヶ谷中学校)

國學院大学 法学部 法律学科

私は松戸国際高校を選んだことに良かったと思っています。3年間で多くのことを学び経験することができました。松国の行事の中で一番盛り上がる松耀祭(文化祭)は生徒が主体となって企画から運営まで行っています。私は生徒会役員として深く関わっていく中で、挑戦することの大変さと楽しさを学ぶことができました。また、松国生が積極的に取り組むのは勉強も例外ではありません。単位制なので英語に磨きをかけて深く学んだり、第2外国語を選択したりしてグローバル化する社会で必要とされる能力を身につけることができます。そして自国の文化を見つめ直し日本の伝統や風習を学ぶ「日本文化」という松国ならではの授業もあります。ぜひ多くのことに積極的に取り組んで下さい。そうすれば松国での3年間は何物にも代えがたい、最高の「青春」になるはずです！



榎本 葵 (松戸市立和名ヶ谷中学校)

千葉大学 教育学部 小学校コース 教育学専修

私は松戸国際高校で3年間を過ごすことができ、とても満足しています。勉強や部活動、学校行事などに積極的に取り組み、自主性のある生徒が多く、互いに高め合える友達に囲まれて学校生活を送ることができました。所属していたバレーボール部では、引退するまで全身全霊で競技に向かい、進路の面でも、志望校合格を叶えることができました。やりたいことや目標を掲げて納得いくまで向き合うことができたのは、あらゆる面で支えてくれた先生方がいてくれたからこそです。夢や目標を近くで応援してくれた仲間や先生方と共に、是非、松戸国際高校でなりたい自分を見つけて、近づけるよう頑張りたいと思います。そして、卒業する時にやり切ったと思えるよう、一生懸命に高校生活を楽しんでください。



西坂 玲香 (鎌ヶ谷市立第五中学校)

国際基督教大学 教養学部

私はこの松戸国際高校に入学して人生が変わりました。これは私だけではなく周りの友人全員が言っていることです。まず、松国では外国籍の友人や留学生、海外経験のある友人など様々なバックグラウンドを持つ友人と出会うことができます。個性豊かで世界に目を向けている友人が大勢いる環境で過ごすことで毎日沢山刺激を受けることができました。そして、松国の多彩な英語の授業は少人数、会話中心で行われ、英語で「何をどう」考えるか、英語で「何を」相手に伝えるかが常に重視されているので、毎日の授業で沢山の知恵や世界の情報を得ることができました。「学校」とは思えない「楽園」のような毎日刺激と笑顔で溢れている雰囲気松国を卒業した今、私は自分の視野が劇的に広がったことをつくづく実感しています。ぜひ皆さんも松国でキラキラした青春を過ごし、キラキラした未来を切り開いていってください。



福島 陽花 (市川市立妙典中学校)

津田塾大学 学芸学部 国際関係学科

松国では、留学や留学生との交流や修学旅行では台湾に行くなど国際交流が盛んです。日頃の授業から指示が英語でされたり、プレゼン、ディスカッションが多く対話力や表現力、考える力がつきます。中学生の頃の私は間違えたらどうしようと思い、話す事に自信がありませんでした。しかし今は、とにかく間違えても良いから話すことが大切だと学びました。そのおかげで、困っている外国人を見かけると自分から声をかけるようになりました。ただ道を教えるだけでなく「これから何をするの?」と会話を楽しめるようにまになったのは常に話す力を鍛えてきたおかげです。松国は生徒に愛される学校です。卒業生は皆、口を揃えて「松国に入って良かった」と言います。自分をしっかり持っていて尊敬できる仲間や先生がいたからこそそう思えたのだと思います。松国でしか味わえない高校生活を楽しんで下さい。

